

令和5年度重点事業の設定について

■重点事業1 「広瀬川1万人プロジェクト」 【継続】

事業概要	広瀬川流域における一斉清掃活動
実施主体	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会
成果目標	参加者数 約2,300人程度（春：900人、秋：1,400人程度と見込む） ※令和4年度と同程度の規模での実施を予定している
スケジュール	春の流域一斉清掃：4月22日（土）、秋の流域一斉清掃：9月23日（土）

令和5年度重点事業の設定について

■重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト

事業概要	広瀬川の魅力を再認識できる取組み 例) 広瀬川に関わるワークショップ、自然・歴史・文化に関する講座など
実施主体	仙台市、その他活動団体
成果目標	広瀬川の魅力を再認識してもらう (本市が実施主体となる取組みでは、参加した方の80%以上に満足していただくことを目標とする)

令和5年度「アイラブ広瀬川プロジェクト」

- ・ 広瀬川自然体験学習（8月頃の予定） 【継続】
- ・ 広瀬川ミズベリング（7月7日（金）） 【新規】

■ 広瀬川自然体験学習 【継続】

事業概要	広瀬川の支流である新川にて、インストラクターの指導のもと、小学生を対象に川の生き物探しや安全講習等を中心としたイベントを開催する。
実施主体	仙台市百年の杜推進課
成果目標	参加した方の80%以上に満足していただくことを目標とする
スケジュール	8月頃の予定
開催場所	ニツカ地内（新川）

令和5年度「アイラブ広瀬川プロジェクト」

■ 広瀬川ミズベリング 【新規】

事業概要	<p>【趣旨】 広瀬川を舞台にした事業創発の場を開き、潜在的な広瀬川活動人材を掘り起こすため、プレゼン発表の場をつくとともに、水辺で乾杯を通じて、立場を超えた一体感をつくりだす。</p> <p>【第一部】プレゼン大会 市民から広瀬川での企画アイデアを広く募集（特に若年層）し、書類審査（応募数が多い場合）と公開審査を行う。 [審査員候補]本多智訓氏（INTILAQ、株式会社MARUMORI-SAUNA）、岩本唯史氏（水辺総研、ミズベリング・ディレクター）ほか</p> <p>【第二部】水辺で乾杯 これからの広瀬川の利活用（せんだいセントラルパーク等）についての望想を産・官・学・金・民で語り合いながら、広瀬川河川敷にて「水辺で乾杯」を行う。</p>
実施主体	主催：広瀬川ミズベリング実行委員会（予定）
成果目標	参加者数 200人程度
スケジュール	7月7日（金） 16時～20時（予定）
事業予算額	94万円
負担金支出予定額	47万円（事業費の1／2）